

1 学校教育目標

○深く考え、自ら学ぶ人
 ○自他を尊重する心豊かな人
 ○心身ともにたくましい人
 人権尊重を基調として、社会の変化に対応した知・徳・体の調和のとれた人間性の育成を目指して、全教育課程において、「夢・挑戦・自立」をキーワードとした教育活動を展開する

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	将来への夢や目標をもち、自立し社会に貢献できる人材を育む学校 ○ 一人一人を大切にし、互いの良さを認め合い、個の能力を伸長できる学校 ○ あらゆる場面・機会をとらえ、心と体を磨き鍛え、豊かな人間性を育む学校 ○ 地域・保護者・学校、三位一体の総合力で生徒の育成を図る学校
○児童・生徒像	夢や目標をもち、自分で考え、判断・表現・行動し、課題解決できる生徒 ○ 基礎的・基本的な知識・技能と主体的に学習に取り組む態度を身につけた生徒 ○ 友情や思いやりの心を育て、自他を尊重する心豊かな生徒 ○ 行事や部活動・奉仕活動に積極的に取り組み、地域に感謝・貢献できる生徒
○教師像	主体的かつ的確な判断ができ、組織として迅速に動くことができる教職員 ○ 危機管理とサービスの徹底・厳守を常に意識できる教職員集団 ○ 新学習指導要領を踏まえ積極的・意欲的に研修や授業改善に取り組み、自ら学ぶ姿勢で知識・視野を広げ、専門性を高める教職員 ○ 人間性豊かで、教員としての基礎基本を身につけた教員

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

・全校生徒が落ち着いた生活を送ることができている。教員の熱意ある指導により学習指導、生活指導、生徒会、部活動など充実した学校生活が営まれている。

・全教員が統一した学びのスタイルを意識した授業改善に取り組み、少しずつ定着してきている。区学力調査では、各教科学校全体の通過率はやや上昇したものの、55%に満たない学年の教科もあり、正答率も学年が上がるにつれて下がっている。

・近隣特別支援学校との交流、近隣小学校との連携・交流、地域町会自治会行事へのボランティア活動に多くの生徒が参加した。さらなる充実を図る。

・不登校生徒や特別支援の必要な生徒が多い。関係機関との連携を図り、一人一人の生徒に応じた対応を組織的に考えていく。教育相談体制の充実を図るとともに教員の教育相談技術の向上を目指す。また発達障がいのある生徒について、ケース会議を開き、共通理解、共通行動、個別の支援を行っていく。

・行事への保護者参加は増加している。しかし、授業参観・学校公開・保護者会への参加はまだ十分とは言えない。魅力ある取組について今後も考え、工夫していく必要がある。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	基礎学力の定着と向上 学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立	○	○	○	○	○
3	小中連携					

5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		基礎学力の定着と向上 学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
統一した学びのスタイルが定着してきているが、形だけでなく、自力思考や自力解決が円滑にできるよう発問、方法や形態の工夫、ICTの活用等改善を図る。国語、数学、英語の3科を中心に中間層の学力を伸ばす。家庭学習の習慣化に向けた取組を実践する。		国語・数学・英語とも各55% 年度末定着度確認問題の国数英の正答率60% 生徒アンケートで「授業がわかる」85% 統一した学びのスタイル関連項目達成85%		自己評価の際に記入					
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業改善	全教科	授業改善推進校研究授業年4回 授業観察 日常と自己申告前後	主体的に学習に取り組む生徒の育成をめざした授業研究、研究協議を年間4回実施し、検証を行う。管理職・教科指導専門員が日常の授業観察と観察後の指導・助言、自己申告面接、研究授業・研究協議を通して、授業改善を図る。	授業観察と自己申告面接 生徒アンケート	生徒アンケートで授業が分かる85% 学びのスタイル関連項目85%	自己評価の際に記入		

2 継続	I C T 機 器を 活用 した 授業 改善	全教科	授 業 観 察 日 常 と 自 己 申 告 前 後	日常の授業や校内外の研究授業で、I C T 機器を有効活用した授業について情報共有や研修を図り、実践する。生徒一人一台の有効な活用方法についても各教科で検討、研修し、実践する。	授業観察と自己申告面接 生徒アンケート	授業で I C T 機器が活用されている 80%	自己評価の際に記入
3 継続	家庭学 習の 習慣 化	5教科	毎日	家庭学習ノートと連絡帳を兼ねた冊子を作成し、毎日提出させる。取組状況の良い例を紹介、表彰するなど学習内容の充実を図る。	毎日提出 担任が確認 を行う	提出率 95%	
4 継続	放課後 補充 教室	数英の2 科中心 時期に よって 国理社	水を除 く毎日	教科担当を中心に全校体制で行う。 各種調査結果からつまずき箇所を個別に演習する。既習内容の復習をし、基礎学力の向上を図る。	計画的実施の 確認 年度末確認 問題	年度末確認 問題正答率 60%	

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立					
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度
生徒自らがより良い学校づくりに参画し、いじめのない「笑顔あふれる学校」「学校に来るのが楽しいと思える学校」を創る。		アンケートで「花北中の生徒でよかったと思う」と80%以上の生徒が回答する。		自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み							
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度		

人権尊重教育の推進	生徒アンケート「友達や他の人のよさを見つけ、大切にしている」90%	思いやりの心、命を大切に する心、規範意識、連帯感、 自己肯定感、平和を愛する心 を道徳推進教師を中心とした 道徳の授業をはじめとして全 教育活動で育み、互いを尊重 しあう好ましい人間関係を築く	自己評価の際に記入
キャリア教育の推進	生徒アンケート「夢や目標をもっている」80%	職業教育や体験活動を通して 夢をもち将来を考え自立でき る力を育成する系統的な指導 自治活動の中で自分の役割を 果たすことで主体的な体験活 動の充実を図る。	
教育相談の充実	生徒アンケート「悩みを相談しやすい」70%	相談室、はばたきルーム、特 別支援教室の整備 教育相談・特別支援教育に関 する研修 ケース会議の開催	
凡事徹底	アンケートでルールや挨拶等について80%以上の生徒が前向きな回答をする。	挨拶、時間、TPOをわきま えた言葉遣いなど教員・生徒 が考える当たり前のことにつ いて指導を徹底する。	

重点的な取組事項－3		小中連携			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
学びの連続を意識した教育活動の推進	研究授業、課題研修等年10回実施	自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度

研究授業公開	指導案検討、授業公開等 年6回	統一した学びのスタイルによる授業力向上の研究授業、指導案検討、研究協議 授業改善推進校として、生徒が主体的に学習に取り組む研究授業の公開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 自己評価の際に記入 </div>
教員の交流	共通の教育課題についての研修会1回 相互授業観察	共通の教育課題についての研修会 相互授業参観	
生徒・児童の交流	交流4事業 児童への学校紹介等PR活動	児童への学校説明会、部活動紹介の企画・運営、夏季補充ボランティア、陸上指導	

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入